

特集

架線系間伐技術人材育成

集約化が進み、搬出間伐が本格的となった昨今、車両系だけの搬出には限界が訪れています。作業道が開設できない場所にも手入れが必要な山、搬出すべき木がある山はあり、そのような場所では架線系がどうしても必要となってきます。

しかし、架線系での間伐材の搬出の技術はまだ未開拓の分野であり県内でも限られた事業者、作業班しかできないのが現状です。

西部・南部(本所)では、数年前から間伐材の架線系での搬出をテーマに様々な取組を行ってきました。

昨年度は架線系の高性能林業機械である最新のタワーヤーダを岐阜まで視察をしに行きましたが、実際に何千万円もする機械を地元業者が導入することは不可能であるため、今年度は、実際に地元業者が持っている昔ながらの集材機を使って、実践的な架線系の研修会を実施しました。

大津市の比叡山延暦寺所有山林で今年度実施される架線系の搬出間伐を題材に研修を行いました。

第1回目は座学で架線系の基本を学んだ後、架線を設置予定の場所で「できるだけ多くの木材を搬出する」ことを前提に受講者で間伐方法や架設方法を検討しました。

第2回目は、3日にわたり第1回目で検討した現場で実際に架線を設置する研修を行いました。ダブルエンドレス方式の架設です。線を張るためのブロック類の取付けから行い、研修生にとっては大変勉強になる3日間だったと思います。

来年度初めに、今回研修を受けた事業者が栗東市内の自分の現場で今回研修を受けた方法で架線系の搬出を行うこととなりました。

車両系の搬出に加え架線系での搬出技術が普及することによって木材生産のバリエーションが増え、より多くの山の資源が活かされることを期待します。



←休憩時間も熱心にワイヤーロープの研修を行う研修生



第1回 研修会 座学



第2回1日目 滑車の設置



第2回1日目 エンドレス索引き回し



第2回2日目主索の固定



第2回3日目 集材の実習

木と森とのふれあいフェア(滋賀日産リーフの森) H27. 11. 8

栗東市金勝の滋賀日産リーフの森で木と森とのふれあいフェアを開催しました。あいにくの雨でしたが、木工や丸太切り、オリエンテーリングの体験などを行いました。

同日に開催されていた全日本リーフオリエンテーリング大会および緑の少年団西部・南部地区交流会の参加者にも楽しんでいただくことができました。



金勝生産森林組合 J-クレジット妥当性確認審査 H28. 1. 22



昨年度より取り組んできました金勝生産森林組合のJ-クレジット取得にむけた取組でいよいよ妥当性の確認審査を受けることができました。森林経営計画とプロジェクト計画の整合性などの確認、現地プロットの確認などの審査を受けました。3月22日の環境省の審査会を経て金勝生産森林組合のプロジェクトが森林管理プロジェクトとしては滋賀県初で登録される予定です。

自伐林家の育成 H28. 2. 1

大津市仰木町にて自伐林家向けの間伐材搬出研修を行いました。滋賀南部森林組合の職員を講師に作業道作設、搬出、造材の研修を行いました。

研修生は地元で山の施業を行っている方で昔木材の伐採を行っていた人もおられましたが、間伐材の搬出について基礎的な技術を学んでいただきました。



大津・南部木材供給協議会が設立されます H28. 3. 18



大津・南部地域で「びわ湖材認定事業体」に認定されている製材業者さんを中心に大津・南部木材供給協議会が設立されることとなりました。

協議会では、大型木造公共施設などが建設される場合の木材供給体制を協議会として取り組むこと、びわ湖材利用促進事業などの県の事業をPRしながら需要を作っていくこと、お互いの情報交換を行うことなどに取り組んでいかれる予定です。

←大津・南部木材供給協議会のロゴマーク

あの人・この人 株式会社あしだ 芦田竜一氏

京都府南丹市日吉町で木材の伐採・搬出を専門に行っておられます。架線技術に精通されており、京都府指導林家であり京都府の緑の雇用集合研修で講師もされています。

滋賀県では、比叡山延暦寺の所有林で木材伐出を手がけられています。

西部・南部(本所)の架線系の取組には大変ご協力をいただきました。

